

合唱詩劇玉名オルグ日記

今後深めたい交流

闘いの芽をつくるためにも

三川 芳 勝

三池労組自身で公演取り組みへ

「三池の闘い」を玉名市民会館で公演するに当たっている問題が多かったが、第一にCO問題を訴え、一人でも多くの劇を見てもらいたいこと、CO問題を理解してもらうことであった。

玉名地評執行委員会では「日程的に、合唱詩劇の取り組みがむずかしい。全面的協力はあるが」といふことだった。三池労組が全責任をもつて玉名公演となった。

玉名地評の活動は一月十一日の名刺交換会より始まった。同日の夕方、青年部、パートも行なわれた。これに四山のキターサークルと、「みいけの闘い」合唱詩劇団員五、六名が文芸隊として参加した。最初は「三十分だけだ」と、あまり演奏させようとはしなかったが、進行するにつれて「最後までいって」と大変事になった。

私は十三日より野田さんと交代した。港務の森さんと各組をまわると、いろいろな障害に出あった。それでも三化玉名自治会、玉東村労働者会、東庄自治会、三池の地域分會など、三井の関連企業労働者に協力を求めたり、心よくひきうけてくれた。

玉名にへ平連 組織発見

十六日、早朝より大牟田への通勤者へ、駅前で「おたより」一冊の配布を行ない、第二組合員にも呼びかけた。その日はすくなくこみ、つめた指が動かなくな

るほどであった。

玉名にもへ平連の組織があると聞き、十返旅館へ古川あけ子さんを訪ねる。この家は殺人鬼西口が捕まった家であり、あけ子さんに文問で会った。セーターの胸には「殺すな」のバッジをつけていて、三池でも四百五十八名の仲間が殺され、いまなおCOガスを苦しむ患者の現実を訴える、心よく十枚のきりうけてくれた。

まへ平連の活動としては少人数であるが、町内をカンパしてまわったり、熊本の十日のデモにはどこかから参加しているそうである。

十七日、十二時大兵の熊本講話に行く。ミカンと員の講話のものともしがしい季節。休日があっても休むことが出来ず、毎日六、七時まで残業させられ、帰りがたうと帰れず、立ちっぱなしの仕事でたうたになつて帰るという

新制作座の人たちと交流

十八日、玉名市民会館で新制作座の「泥かぶり」の公演があり、座と夜に「おたより」一冊を会館内でくばる。午後四時楽屋で交流会を行ない、四十二年の夏、CO特別立法の闘いで上京した時、新制作座をたずねて交流会を行なった時のお話を言い、文化運動のむずかしさ「くすすのは一日で出来るが、作るには何千万円とかかる」など、多くのことを学び、新制作座の人たちから「私たちの合唱詩劇を新しい文化創造として、こんども全国の仲間に見せてくれ」と言われた。



地域(杜宅)での熱心な交流

「三池の闘い」を見たと言ふ。その人が社長へ話し、店を閉めて五人全部で見に来てくれるという。CO患者家族の三上さんがはあちゃんとして来て、売券活動をしてくれる。

CO中毒が放置されている

十九日曜日、三池では中央委員。合唱詩劇団の仲間が「はるかぜ」でやって来て、大倉田地や大浜へ出かけ、売券活動をしていく。仲間とはうれしものだ。

二十日、全九電の青年部の賀久さんより、空襲銃で射つたからと小島を多数もたらす。夜三池の玉名地域分會の人々に地評の議長の渡辺さん、農民運動を長年やって来ている坂口さんなど、やき鳥をして食べながら、こんごの活動を話し合つて、券を買ってくれそう多数の個人の家庭や、地評に加盟してない組合などを紹介された。

二十一日、森、小崎さん感奮をみおして長洲へ行く。市内の某電機店の店員、熊本の太平洋文化ホ

うれしさに悔いが

まなぶ会のオルグを迎えて

高橋 保子

夜の夫を送り出した夜更け、眠れないままにペンを執る私の胸を、まるで走馬灯のようにオルグの方の影がすすりすすり行きま

と熱意にあふれたオルグ。遠い東北の町から再び三池を、しかも同じ分會を訪ねてくれた喜びをかきしめられない表情のオルグ。いまさら心なれど。

夜も大分深まりましたが、地域闘争本部では熱心な交流が続きました。過去幾度かくり返されたこの会の中で、これほどの盛りあがりはないと思ひます。

もちろんメンバーの中に労働講師の方があり、実質上会の進行係の役を勤めていたためとはいへ、行き悩んだ問題をかえ、三池での交流の中でそれを何とか

解決しようと意気込むオルグと、ごく最近まで日夜抗議行動を続け、いままた打ち続く中での、なにかを守る会加入者「一人でも」と願う主婦会員と、双方の真剣な姿勢によるものでしょう。

ひどい差別賃金の中の苦しい生活実態を訴える主婦会員に「第二組合に行つて高い賃金をもらつた方が」という問い。それに「父ちゃんには丈夫で長持ちしてもらわんと」、「ゼニカネじゃなかですもんね」という主婦会員の声はね返る。

最低といわれる炭鉱夫の賃金で一杯やりくり算段して暮らしている私たちに、約一万円、いやせめてあと五千円多かつたらと思うとき、差別賃金が無性にうらめしく、ついグチをこぼす。

しかし保安無視の攻撃の中で何の抵抗もできず、黙々と働き続ける第二組合員の人たちの話を聞く

(宮浦・通松分會) 中重貴、前田勇、平沢誠吾(以上三川)

に協力してもらおう。洋裁学院へ行き話をすると、CO患者の子弟がいて学費を割引きしているということだった。うれしく思う。女子高生にも通学生の中に、CO患者の子弟がいていて、三井の犯した罪はまことに大きい。

二十四日、再度各組合をまわる。券が下部まで降りていず執行委員会段階で処理しようとしていた傾向が見える。各組合の青年部へ交流会を申し込んでもらいたいやがてか、希望をうけつけない。

社会党の上田梅次さんが、私たちと二日間も個人の家をまわってくれる。本當にうれし。

二十五日、集約の結果、地評の組織にもたのんだが、私たちの足

三池のタスキは赤 大地評伝広援しよう

玉名で見た三井の大罪

二十三日再度通勤者へ「おたより」三冊を配布し、市役所前でも配布する。村田さん、飯塚さんら

に協力してもらおう。洋裁学院へ行き話をすると、CO患者の子弟がいて学費を割引きしているということだった。うれしく思う。女子高生にも通学生の中に、CO患者の子弟がいていて、三井の犯した罪はまことに大きい。

二十四日、再度各組合をまわる。券が下部まで降りていず執行委員会段階で処理しようとしていた傾向が見える。各組合の青年部へ交流会を申し込んでもらいたいやがてか、希望をうけつけない。

社会党の上田梅次さんが、私たちと二日間も個人の家をまわってくれる。本當にうれし。

玉名で見た三井の大罪

二十三日再度通勤者へ「おたより」三冊を配布し、市役所前でも配布する。村田さん、飯塚さんら

に協力してもらおう。洋裁学院へ行き話をすると、CO患者の子弟がいて学費を割引きしているということだった。うれしく思う。女子高生にも通学生の中に、CO患者の子弟がいていて、三井の犯した罪はまことに大きい。

二十四日、再度各組合をまわる。券が下部まで降りていず執行委員会段階で処理しようとしていた傾向が見える。各組合の青年部へ交流会を申し込んでもらいたいやがてか、希望をうけつけない。

社会党の上田梅次さんが、私たちと二日間も個人の家をまわってくれる。本當にうれし。

玉名で見た三井の大罪

二十三日再度通勤者へ「おたより」三冊を配布し、市役所前でも配布する。村田さん、飯塚さんら

に協力してもらおう。洋裁学院へ行き話をすると、CO患者の子弟がいて学費を割引きしているということだった。うれしく思う。女子高生にも通学生の中に、CO患者の子弟がいていて、三井の犯した罪はまことに大きい。

二十四日、再度各組合をまわる。券が下部まで降りていず執行委員会段階で処理しようとしていた傾向が見える。各組合の青年部へ交流会を申し込んでもらいたいやがてか、希望をうけつけない。

社会党の上田梅次さんが、私たちと二日間も個人の家をまわってくれる。本當にうれし。